

朝の読書をしよう

R3.4 図書研修課長

本校では1、2、3年生全体で朝の読書を行う。

朝早く来て、8：20までに着席し、教室で静かに本（自分が持ってきた本）を読もう。

朝の読書とは何か？

1988年に千葉のある高校で始まった営みで、劇的に効果があったので、90年代に全国に燎原（りょうげん）の火の如（ごと）く広がった。文部科学省や教育委員会も効果を認め、今では全国の多くの小中高等学校で実施されている。みなさんの多くも小中学校で経験したはず。愛媛のほとんどの高校でもやっている。

朝の読書とは何か。その四原則は、次の通り。

- (1) みんなでやる
- (2) 毎日やる
- (3) 好きな本でよい
- (4) ただ読むだけ

少し補足すると、朝読書、昼読書、夕読書、授業前5分間読書、朝の5分間運針、黙想（瞑想）など、様々な試みが実はあった。が、その中で、朝の10分間読書が効果があって、全国の学校に広がった。どうしてそうなるのか、脳科学的に検証するとどうなのか、を私は知らない。が、経験的にはそうなのだ。いわゆるトップ校で実施すると、短期間で劇的に効果があることも例証されている。

その効果は、

- ① 朝余裕を持って登校し読書するので、落ち着いて学校生活を始められる
- ② 情緒が安定する
- ③ 集中力が身に付く
- ④ 言葉や漢字を覚える
- ⑤ 文章を読む力が身に付く
- ⑥ 思考力が身に付く（人間は言葉を使って思考する）
- ⑦ 情操（じょうそう）も身に付く（人間の情操の重要な部分に言葉が関与している）
- ⑧ 自分に合った本を読むので本当に自分の実力がつく
- ⑨ 全体として学力が上がり生活の質が向上する
- ⑩ これをきっかけとして読書する習慣が身に付き、じっくりした学校生活・深く充実した人生を送ることができる
- ⑪ お互いに本の話をするので深いレベルで人（級友、先生、家族を含む）と交流できる
- ⑫ 与えられた単語集をするのと違い、自分で本を選ぶので、自律的学習の姿勢が身に付く

- ⑬ 画一（かくいつ）的小テストと違い、互いに違った本を読みそれぞれがその本のスペシャリストになるので、相互にリスペクト（尊敬）しあう関係を築ける
- ⑭ 人間や社会について知り、自分の生き方を考えるようになる
などのさまざまな良い効果が言われており、さらには
- ⑮ 10分間集中して文章を読む習慣が身に付くので受験（入試）（国語や英語だけでなく）にもきわめて強くなる
- ⑯ いじめや不登校もなくなる
などとまで言われている。
- ⑰ そもそも、生徒が真剣に本を読んでいる姿を見れば、先生は感心して生徒（＝未来の大人）を尊敬するようになる
- ⑱ 朝読書のためには、朝慌てて宿題を写すのではなく、家庭で（例えば金曜の夜や土日にも）しっかり家庭学習をするようになるので、学習習慣・生活習慣自体が改善できるのは、言わば漢方薬と同じだ。じわじわと全体に効（き）いてくるのだ。
- ⑲ 本校で言えば、大学入試共通テストを素早く解く、小論文の高度で長い課題文を短時間に読解し理解することができるようになる
- ⑳ 記述式テストや小論文などを言葉で表現・記述するためにも、朝読書で培（つちか）った力は有効だろう。

そこで、8：20までに各自自分が選んだ本を持って教室で自席に着席し、8：20～は静かに、本を読もう。毎日そうすることによってあなたは自由になり、実力も付き、世の中を背負い、未来を切り拓（ひら）くパイオニアにもなれるだろう。

本校の特性に鑑（かんが）み、あなたがた自身のまたお互いのために、以下のよう
に心がけよう。

読む本は評論・随筆・小説・紀行文など、新書でも文庫でも、人間・社会・自然の各分野どれでも、自分で選んで持ってくる。『蛍雪ライブラリー』もよい。ただしマンガ・雑誌・写真集・イラスト集・パンフレット・ビラなどは不可。受験参考書・問題集・用語集・模試問題・辞書・教科書なども不可。あなたの情操（じょうそう）と思考力を高める本を選ぼう。先生が学級文庫を置いて下さるかもしれないが、各自お薦めの本を先生に申し出て置いていただくのも一法。

開校日でできる日は毎日やろう。（運動会当日でグランド集合の日やアセンブリ時程で1時間目に体育がある日などはできない。）ほとんどの日はできるはず。定期考査期間中などは学年の先生の指示に従うとよい。

朝読書の時間は板書やプリント配布やクラスの伝達はせず、静かに読書する。

（参考）朝の読書推進協議会推奨ホームページ「広げよう『朝の読書』」、
朝の読書公式ホームページ など